

# CHUBU

## 取扱説明書（保証書付）

**型式**

DD30TAB

DD30TBB

DD50TAB

DD50TBB

### I Hコンロ

●安全に正しく使っていただくため、お使いになる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

●十分に理解されるまでお使いにならないでください。

●この取扱説明書はすぐに取り出せるように大切に保存してください。

●この取扱説明書で「警告」は守らないと重大な人身事故の可能性があることを示し「注意」は守らないと中程度、または軽傷の人身事故の可能性があることを示します。

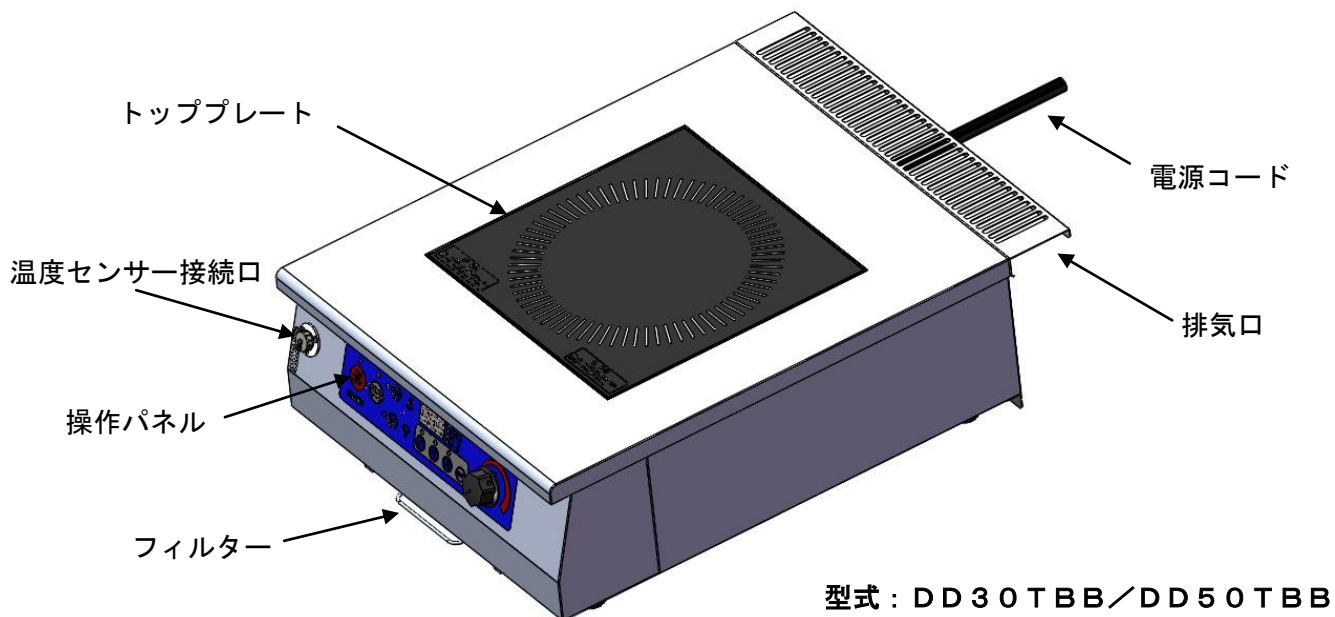
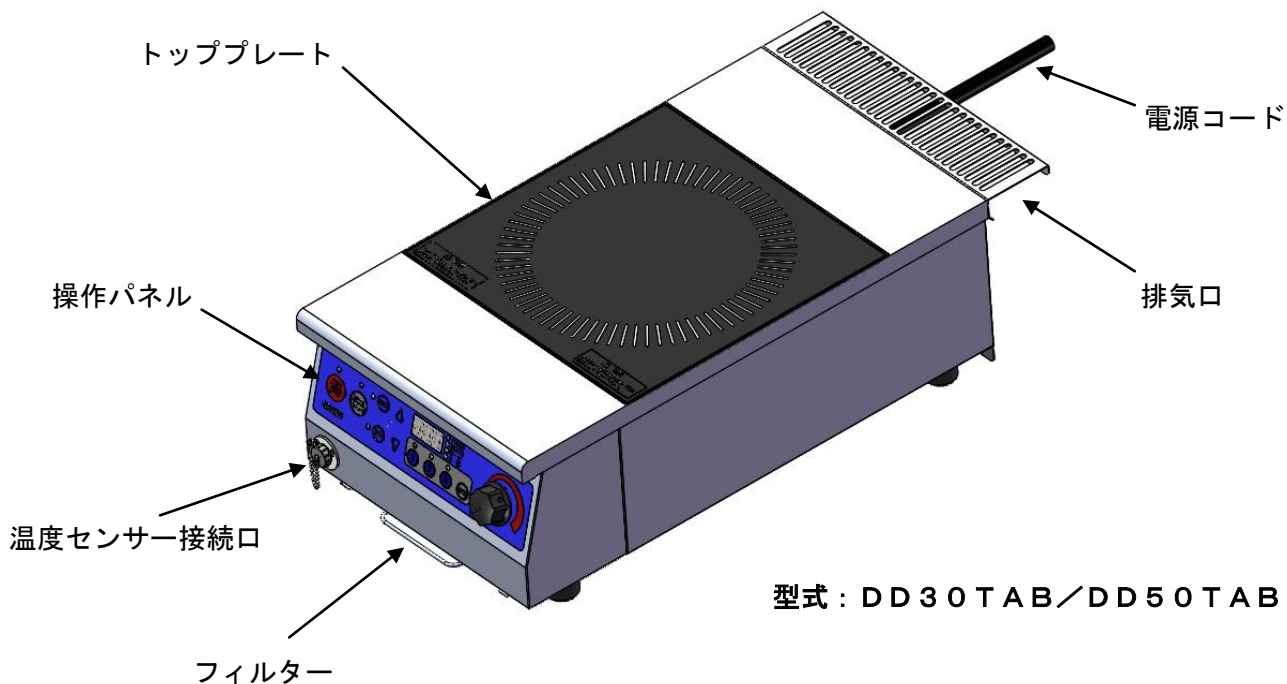
●仕様および外観は性能向上のため予告なく変更する場合があります。

### もくじ

1	各部の名称	1
2	安全のため必ず守って下さい	2
3	設置および使用前の準備	7
4	使用方法	8
5	日常の点検とお手入れの方法	15
6	消耗品の紹介	15
7	故障の見分け方と処置方法	16
8	仕様	17
9	保証とアフターサービスについて	17

株式会社 中部コーポレーション

# 1 各部の名称

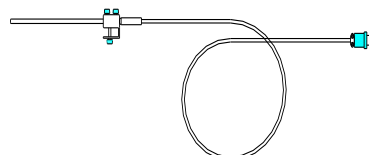


## 付属品

取扱説明書（保証書付き）



## メーカーオプション

温度センサー






## 2 安全のため必ず守って下さい

- ご使用になる前に、この「安全のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。
- 表示と意味は次のようになっています。

	<b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が、想定される内容を示します。
	<b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、 <u>物的損害</u> の発生が、想定される内容を示します。*

\* 物的損害とは、家屋・家財および家畜ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

 注意	△は注意(危険・警告を含む)を示します。具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。
 分解禁止	⊘は、禁止(してはいけないこと)を示します。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。
 プラグを抜く	●は、強制(必ずすること)を示します。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。

### 警 告

- お手元に届いたら、すぐに運送上の損傷がないかチェックすること  
もし、損傷があれば運送会社へ損傷の状況を（梱包の箱と共に）連絡してください。損傷のまま使用しますと、感電、火災、ケガ等の原因となります。



損傷確認

- アース工事を必ず行うこと  
アース線はガス管、水道管、避雷針電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。  
(電気工事業者によるD種設置工事が必要です。)



アース工事

- 絶縁試験（メガテスト）をしないこと  
メガテストを行うと、製品が焼損または破損します。

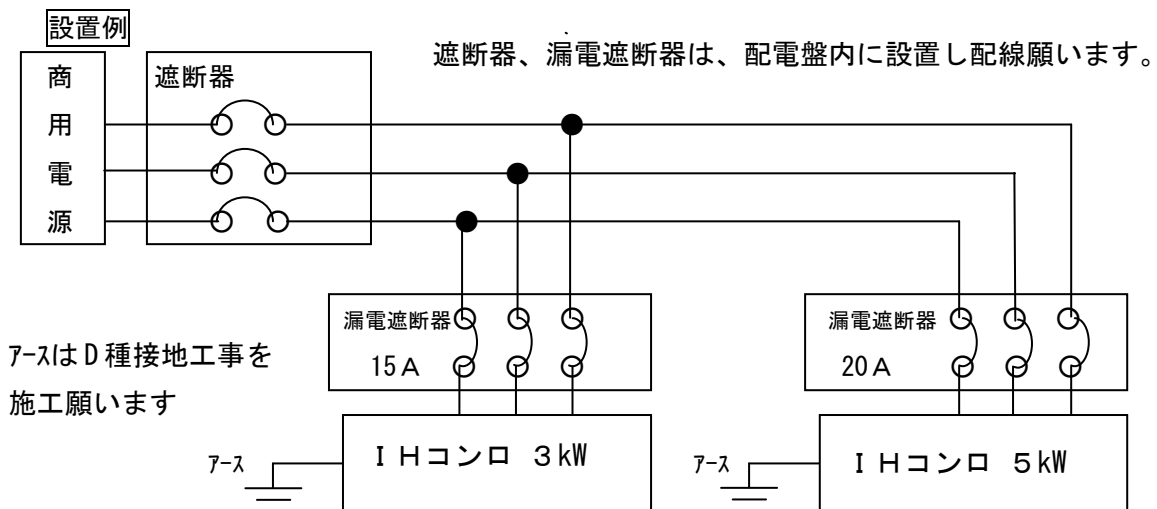


禁 止

- 本製品の1台につき1個の漏電遮断器（地絡過負荷・短絡保護兼用形）  
感度電流 30mA を以下のように設置すること  
3 kW の製品については定格 15 A 以上、5 kW の製品については定格 20 A 以上の  
漏電遮断器を以下の結線図のように設置をして下さい。



漏電遮断器設置



- 電源は専用で使用すること  
電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。（電源を入れる前に供給されている電圧が装置の規格と合っているか確認して下さい。）



専用電源

- 屋外で使用しないこと  
雨水のかかる場所で使用されますと、漏電、感電の原因になります。



屋外禁止

- 本機は業務用ですので子供だけで使わせないでください  
感電、ケガの原因になります。












禁 止

- 電源コードを傷つけたり、汚さないこと  
加工したり、引っ張ったり、たばねたり、重いものを載せたり、はさみ込んだり、また汚したりすると電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



禁 止

- 
- |  |   |
|--|---|
| <p>●電源コード取付部にほこりが付着していないか、また<br/>しっかりと接続されているか定期的に確認すること<br/>ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電、火災の原因になります。</p>  | <br>点検掃除   |
| <p>●濡れた手で電源プラグなど電気部品に触れたり、操作をしないこと<br/>感電の原因になります。</p>   | <br>濡手禁止   |
| <p>●異常時は、運転を停止し、元電源を切って、<br/>すぐに最寄りの販売会社へ連絡すること<br/>異常のまま運転を続けると感電、火災の原因になります。</p>   | <br>電源を切る  |
| <p>●修理技術者以外の人には絶対に分解したり、修理しないこと<br/>異常作動してケガをしたり、修理に不備があると感電、火災などの<br/>原因になります。</p>  | <br>分解禁止   |
| <p>●使用後のトッププレートは熱くなっていますので手を触れないこと<br/>使用後しばらくは、鍋の熱でトッププレートが熱くなっていますので、<br/>手を触れないでください。火傷をすることがあります。</p>  | <br>接触禁止 |
| <p>●トッププレートに衝撃を加えないこと<br/>トッププレートはガラスですので衝撃を加えると割れます。<br/>トッププレートにひびが入ったり、割れた場合は、販売店に連絡して下さい。<br/>有償にて修理を致します。そのままでの使用は絶対にしないでください。<br/>異常作動や感電の原因となります。</p>                       | <br>禁止   |
| <p>●鍋の底に物を敷いて運転しないこと<br/>鍋の底に紙や布などの物を敷くと鍋の熱でその物を焦がすことがあります。<br/>また、それによって製品が壊れる可能性があります。</p>   | <br>禁止   |
| <p>●鍋の空焚きをしないこと<br/>空焚きをすると鍋が急激に温度上昇するため、火傷、火災の原因になります。<br/>また、それによって製品内部も高温となるため故障の原因になる場合があります。</p>  | <br>禁止   |
| <p>●水、油等の液体につけたり、かけないでください。<br/>感電、ショート、発火の原因になり、製品が壊れる可能性があります。<br/>また、ふきこぼれ等の場合は加熱を停止し、拭き取って下さい。<br/>高温（200℃以上）の油などの飛散によってトッププレートの接着が損傷し、<br/>それによって製品が壊れることがありますので気を付けて下さい。</p> | <br>禁止   |
-

● トッププレートのガラス以外の所に加熱した鉄皿等を載せないでください  
熱による板金の変形、ガラス接着剤が損傷します。  
それによって製品が壊れることがありますので気を付けてください。



禁止

● 運転中は製品の使用場所から離れないこと  
加熱物の温度が急上昇し、発火する恐れがあり、火傷、火災の原因となります。



禁止

● 心臓用のペースメーカーをご使用の方は、使用に注意してください。  
心臓用のペースメーカーをご使用の方は、専門医師とよく相談の上、影響のないことを確かめてからご使用ください。



注意



## 注意

● 丈夫で平らな所に水平になるように据え付けること  
据え付けに不備があると転倒、落下によるケガなどの原因になる  
ことがあります。



水平設置

● 長時間使用しない時は、元電源を切ること。  
電源接続部にほこりが溜まって発熱、発火の原因と場合があります。



電源を切る

● 廃棄は専門の業者か、最寄りの販売会社に依頼すること  
放置しますとケガの原因になることがあります。



専門業者

● 排気口をふさがないこと  
排気口のすぐ側にものを置くと内部の温度が高くなり、保護装置が作動して  
加熱が停止されますが、電気部品が故障する場合があります。



禁止

● 鍋はトッププレートの中央（円の中心）に置くこと  
トッププレートの指定の場所からずらして加熱すると、パワーが落ちる場合が  
あります。



注意

● 磁気製品を近づけないでください  
磁気製品を近づけるとそれが壊れる場合があります。



注意

● 加熱中に電磁調理可能鍋以外の金属をトッププレート上に置かないこと。  
電磁調理可能鍋以外の金属物（缶類、ナイフ、スプーン等）を加熱中に  
トッププレート上に置くと加熱してしまいます。  
火傷等の危険がありますので絶対にしないこと。



禁止

- 
- 調理用プレートが長時間高温になる焼き物調理や炒め物調理をしないこと  
グリルプレートなどの調理用プレートを使用した焼き物や炒め物調理で、  
プレートの温度が長時間高温になる場合は、製品内部も高温となり  
故障の原因になる場合があります。



禁 止

- 
- 液体中に固形物や粘度の高い調理物、凍った食材などが含まれた状態で  
加熱を行う場合は焦げ付きに注意してください

固形物や粘度の高い調理物、凍った食材などは液体中であっても鍋底に  
密着した状態が続くと焦げ付きや鍋の異常加熱の原因となりますので、  
加熱中はよくかき混ぜるか、鍋底に密着させないための底上げ器具  
(底上げ網やスプースポーターなど)を使用してください。



注 意

- 
- オイルミストが多く発生する環境での使用は避けること

製品内部が汚れることにより、予期せぬ動作や故障の原因になります。



禁 止

- 
- 液体加熱時は急激な沸騰に注意すること

水・だし汁・みそ汁・牛乳・カレーなどの液体を加熱した際、急激な  
沸騰（突沸）が起こり、液体が噴き出す、飛び散る、鍋が跳ねる  
といった現象が起こる可能性があるため、火傷、ケガ、トッププレート破損など  
の原因になります。液体を加熱する際は、かき混ぜながらご使用ください。



注 意

## 3 設置および使用前の準備

- 本製品は住居用（家庭用）として使用することができません  
電波法無線設備規則第 65 条第 3 号の規定により、本製品は※住居用（家庭用）として使用することができませんのでご注意ください。  
※住居とは、人が居住する目的の場所であり、店舗や会社は住居にあたりません。
- 丈夫で平らな所に水平になるように設置してください  
正常な運転を行うため、水平な場所に設置してください。
- 本機に水がかかる恐れがある付近には設置しないでください  
電機部品に水がかかって火災・漏電・感電の原因となることがあります。
- 電源は規格の電圧のものを使用してください  
電源を入れる前に供給されている電圧が装置の規格と合っているか確認してください。
- 電磁調理可能鍋を使用してください  
本機械において鍋の形状・材質・大きさにより使用できない鍋があります。以下のものを参考にしてください。

### 使用できる鍋

鉄、鉄ホーロー、鋳物、ステンレス（18-0, 18-10）等、磁石の吸い付く鍋で、鍋底の直径が 2.4 cm 以上で、底の平らな鍋、また、電磁調理器用に設計された鍋（土鍋等）（鍋底の直径が 2.4 cm 未満や底が平らでない鍋は加熱可能ですが、十分な加熱ができない場合があります。また、電磁調理器用の鍋でも磁性が弱いものとパワーがでない場合があります。）

#### 注意

鍋底が薄い鍋は、使用中にそる場合がありますので、厚手のものを使用してください。

#### 注意

トッププレート（ガラス）より大きい鉄皿等を加熱すると、熱によりトッププレート板金部の変形、ガラス接着剤が損傷しますので、使用しないでください。

### 使用できない鍋

ガラス、アルミ、銅、陶磁器、土鍋等の磁石に吸い付かない鍋  
アルミや銅鍋等に鉄を溶射した鍋

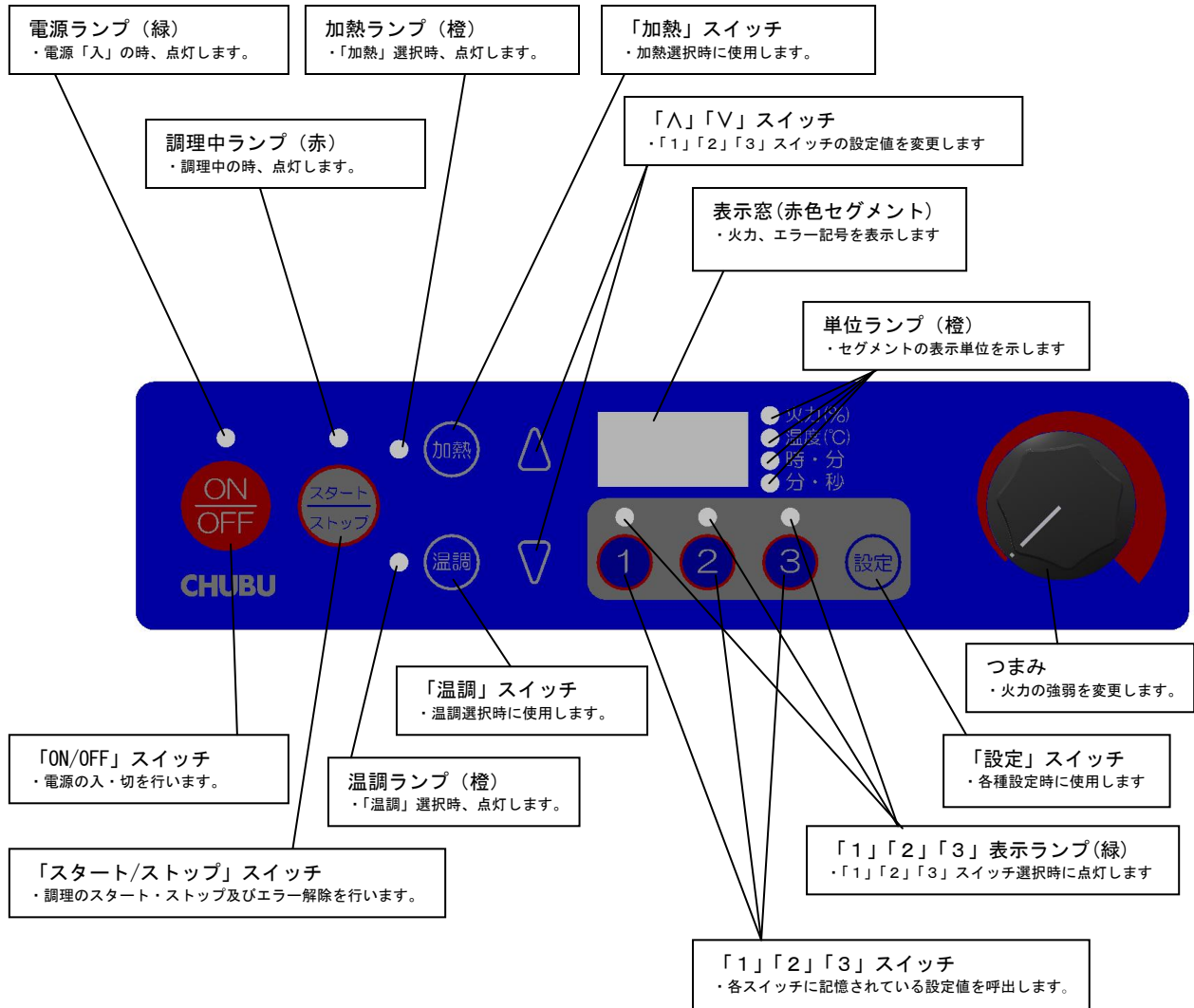
#### 注意

使用できない鍋を加熱させると保護装置が働き、「nP」と表示され、加熱が停止します。解除する場合は、「スタート/ストップ」スイッチを押してください。



# 4 使用方法

## 操作パネルの説明



## 1. 加熱運転（手動運転）

- (1) 「ON/OFF」スイッチを押す。
  - ・電源ランプ（緑）が点灯します。
- (2) トッププレートの中央（円の中心）に鍋を置きます。

### 注 意

鍋はトッププレートの中央に置くこと。

トッププレートの中央（円の中心）からずらして調理すると、パワーがでない場合があります。

### 注 意

運転中に電磁調理可能鍋以外の金属等（缶類、ナイフ、スプーン等）をトッププレート上に絶対に置かないこと。

運転放置による保護機能はありませんので、運転中に金属物を置くと加熱してしまいます。火傷等の危険がありますので絶対にしないこと。

- (3) 加熱ランプ（橙）が点灯しているのを確認する。
  - ・温調ランプ（橙）が点灯している場合は、「加熱」スイッチを押して加熱運転へ切り替えます。

### 注 意

誤動作防止のため、運転中は温調運転から加熱運転へ切り替えることができません。

- (4) 「スタート/ストップ」スイッチを押すと、調理を開始します。
  - ・調理中ランプ（赤）が点灯します。
- (5) 「つまみ」又は「1」「2」「3」スイッチで火力（%）の調節ができます。表示窓に火力（%）が表示されます。
  - つまみによる火力（%）調節
    - ・「1」「2」「3」表示ランプ（緑）が消灯しているのを確認する。  
「1」「2」「3」表示ランプ（緑）のいずれかが点灯している場合は、点灯している「1」「2」「3」スイッチを押して、「1」「2」「3」表示ランプ（緑）を消灯させます。
    - ・つまみを回すと0%~100%まで1%単位で火力を変更できます。
  - 「1」「2」「3」スイッチによる火力（%）調節
    - ・「1」「2」「3」スイッチを押すと各スイッチに記憶された火力（%）へ変更できます。  
（「1」「2」「3」スイッチの設定方法は、13ページに記載されています。）

- (6) 「スタート/ストップ」スイッチを押すと、調理を終了します。
- ・調理中ランプが消灯します。
  - ・調理終了後、3分後に冷却ファンが停止します。
- (7) 使い終わったら「ON/OFF」スイッチを押し、OFFにします。
- ・電源ランプが消灯します。

**注 意**

冷却ファンが停止してから、「ON/OFF」スイッチを、OFFにしてください。

## 2. 温調運転（自動運転）

- (1) 「1. 加熱運転（1）～（2）」の要領で加熱したい鍋をセットします。
- (2) 温度センサー（オプション品）を取付ける。
  - ・温度センサー接続口のキャップを外し、温度センサーをはめ込み、ねじを回してしっかりと固定して下さい。そして測りたいものにセットしてください。
- (3) 温調ランプ（橙）が点灯しているのを確認する。
  - ・加熱ランプ（橙）が点灯している場合は、「温調」スイッチを押して温調運転へ切り替えます。

### 注 意

温度センサーが取り付けられていない場合は温調運転へ切り替えることができません。

### 注 意

誤動作防止のため運転中は加熱運転から温調運転へ切り替えることができません。

- (4) 「スタート/ストップ」スイッチを押すと調理を開始します。
  - ・調理中ランプ（赤）が点灯します。
- (5) 「つまみ」又は「1」「2」「3」スイッチで温度（℃）の調節ができます。  
表示窓に温度（℃）が表示されます。  
単位ランプ点灯：設定温度、単位ランプ点滅：実温度  
（「設定」スイッチを押すことにより、設定温度と実温度の表示を切り替えることができます。）
  - つまみによる温度（℃）調節
    - ・「1」「2」「3」表示ランプ（緑）が消灯しているのを確認する。
    - 「1」「2」「3」表示ランプ（緑）のいずれかが点灯している場合は、点灯している「1」「2」「3」スイッチを押して、「1」「2」「3」表示ランプ（緑）を消灯させます。
    - ・つまみを回すと50℃～185℃まで1℃単位で温度を変更できます。
  - 「1」「2」「3」スイッチによる温度（℃）調節
    - ・「1」「2」「3」スイッチを押すと各スイッチに記憶された温度（℃）へ変更できます。
    - （「1」「2」「3」スイッチの設定方法は、13ページに記載されています。）
- (6) 「スタート/ストップ」スイッチを押すと、調理を終了します。
  - ・調理中ランプが消灯します。
  - ・調理終了後、3分後に冷却ファンが停止します。
- (7) 使い終わったら「ON/OFF」スイッチを押し、OFFにします。
  - ・電源ランプが消灯します。

### 注 意

冷却ファンが停止してから、「ON/OFF」スイッチを、OFFにしてください。

### 3. プログラム運転

- (1) 「1.加熱運転 (1)～(2)」の要領で加熱したい鍋をセットします。
- (2) 「1」「2」「3」スイッチのいずれかを押し、表示窓の表示を「P1」「P2」「P3」の何れかにします。  
「1」の時「P1」、「2」の時「P2」、「3」の時「P3」になります。
  - ・選択されたスイッチのランプ（緑）が点灯します。
- (3) 「スタート/ストップ」スイッチを押すと、選択したスイッチに記憶されているプログラムに従って調理を開始します。
  - ・表示窓に各段階における残りの調理時間が表示されます。
  - ・調理中に「設定」スイッチを押す毎に表示窓の表示が切り替わります。
    - 加熱運転時：運転中の段階名→火力→実温度（温度センサー使用時）  
→残りの調理時間→運転中の段階名
    - 温調運転時：運転中の段階名→設定温度→実温度  
→残りの調理時間→運転中の段階名
  - 数秒間、何もしないと残りの調理時間表示に戻ります。  
(プログラム設定方法は、次ページに記載されています。)

●プログラム運転は5段階まで設定可能です。

- (4) プログラム運転終了後、自動的に調理が停止します。
  - ・終了ブザーが鳴り、調理中ランプが消灯します。
  - ・プログラム運転中に「スタート/ストップ」スイッチを押すことにより、途中で調理を停止することができます。

## 4. 「1」「2」「3」スイッチの設定記憶手順

ここでは、「1」スイッチで説明します。

「2」「3」スイッチの場合は、「1」スイッチを「2」、「3」スイッチに読み替えて下さい。

- (1) 調理中ランプ（赤）が消灯しているのを確認します。
    - ・運転中の場合は運転を停止してください。
  - (2) 「1」スイッチを長押しします。
    - ・表示窓の表示が切り替わり、「1」のランプ（緑）が点滅します。
  - (3) 「1」スイッチの動作設定を開始します。
    - ・以下 a. ~ c. を設定可能です。
- a. 火力（%）固定値設定
- ① 「加熱」スイッチを選択します。
    - ・加熱ランプが点滅し、表示窓に「Po」と表示されます。
  - ② 「設定」スイッチを押し③へ進みます。
  - ③ 火力（%）固定値を変更します。
    - ・「∧」又は「V」スイッチを押して火力固定値を変更します。
    - ・火力固定値は0%~100%まで1%単位で変更できます。
  - ④ 火力（%）固定値を記憶します。
    - ・「設定」スイッチを押して火力固定値を記憶します。
  - ⑤ 以上で火力（%）固定値が記憶され設定が終了します。
- b. 温度（℃）固定値設定
- ① 「温調」スイッチを選択します。
    - ・温調ランプが点滅し、表示窓に「TE」と表示されます。
    - ※温度センサーの取り付けが必要です。
  - ② 「設定」スイッチを押し③へ進みます。
  - ③ 温度（℃）固定値を変更します。
    - ・「∧」又は「V」スイッチを押して温度固定値を変更します。
    - ・温度固定値は50℃~185℃まで1℃単位で変更できます。
  - ④ 温度（℃）固定値を記憶します。
    - ・「設定」スイッチを押して温度固定値を記憶します。
  - ⑤ 以上で温度（℃）固定値が記憶され設定が終了します。

### c. プログラム運転設定

- ① 「加熱」スイッチ選択時に「∧」スイッチ  
又は「温調」スイッチ選択時に「V」スイッチを押します。  
表示窓に「Prg」と表示されます。
- ② 「設定」スイッチを押し③へ進みます。
- ③ 表示窓に「-1-」と表示されます。
  - ・ 1～5段階目の順に動作を設定します。
  - ・ 表示窓に今から設定する(※)段階名が表示されています。  
(※) 1段階回目の場合は「-1-」、2段階目の場合は「-2-」、  
以下「-3-」、「-4-」、「-5-」と表示されます。
- ④ 「設定」スイッチを押し⑤へ進みます。
- ⑤ 加熱/温調の選択をします。
  - ・ 「加熱」スイッチ又は「温調」スイッチを押して加熱/温調選択をします。  
加熱選択時：加熱ランプが点滅し、表示窓に「Po」と表示されます。  
温調選択時：温調ランプが点滅し、表示窓に「TE」と表示されます。
  - ・ 「設定」スイッチを押し次に進みます。  
加熱選択時（加熱ランプ点灯）は⑥-1へ、  
温調選択時（温調ランプ点灯）は⑥-2へ進みます。

※温度センサーが取り付けしていない場合は⑤は省略され、⑥-1へ進みます。

- |  |  |
|--|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>⑥-1 次に火力 (%) を設定します。<ul style="list-style-type: none"><li>・ 「∧」又は「V」スイッチを押し、<br/>火力を設定します。<br/>火力は1%単位で変更できます。</li><li>・ 「設定」スイッチを押し⑦に<br/>進みます。</li></ul></li></ol> | <ol style="list-style-type: none"><li>⑥-2 次に温度 (°C) を設定します。<ul style="list-style-type: none"><li>・ 「∧」又は「V」スイッチを押し、<br/>温度を設定します。<br/>温度は1°C単位で変更できます。</li><li>・ 「設定」スイッチを押し⑦に<br/>進みます。</li></ul></li></ol> |
|--|--|
- ⑦ 次に調理時間を設定します。
    - ・ 時間単位ランプ（黄）が点滅します。
    - ・ 「∧」又は「V」スイッチを押し、調理時間を設定します。
    - ・ 0分00秒～9分59秒、0時間10分～9時間59分まで設定可能です。  
（「∧」又は「V」スイッチを押し、繰り上がり（繰り下がり）すると、  
単位ランプ（黄）は自動で切り替わります。）
    - ・ 「設定」スイッチを押し⑧に進みます。
  - ⑧ 次の段階名が表示されます。  
（以下、5段階目まで設定を行います。）
  - ⑨ 5段階目（-5-）まで入力すると、設定を終了します。

段階途中で運転を終了したい場合は、その後の全ての設定を、火力「0」、  
運転時間「0.00」としてください。

## 5

# 日常の点検とお手入れの方法

## 1. フィルターの清掃

- (1) 電源を切り、機器が十分に冷えている事を確認してください。
- (2) コンロ下部のフィルターを手前に引き抜いてください。
- (3) 中性洗剤で浸け置き洗いをしてください。
- (4) 自然乾燥させた後、組付けてください。

### 注 意

フィルターの手入れは1週間に1回行ってください。  
使用環境が悪い場合や使用頻度が多い場合は、手入れの回数を増やしてください。  
フィルターの無い状態や、フィルターが目詰まりした状態で運転をしないでください。  
電気部品が壊れる原因となります。

## 2. トッププレートの手入れ

トッププレート上が汚れた場合、硬くしぼった濡れふきんで拭き取ってください。

### 注 意

トッププレートは常に汚れの無い状態で使用してください。  
トッププレートに付着物が付いた状態で使用を続けると、加熱力が弱くなります。

## 6

# 消耗品の紹介

## 1. トッププレート

トッププレートは、衝撃・空焚き等により劣化します。  
劣化時期は、使用状況により異なります。  
ひび割れ・破損等劣化が発生した場合は、直ちに使用を中止し、新品と交換してください。  
交換作業は、作業専門者が行う必要がありますので販売店に連絡してください。

## 2. 冷却用ファンモーター

通常は3年を目安として新品と交換してください。  
交換作業は、作業専門者が行う必要がありますので販売店に連絡してください。



## 7 故障の見分け方と処置方法

以下の処置方法を行っても直らない場合や、以下以外の症状が発生した場合は、漏電遮断器を遮断し、販売店に連絡をしてください。1年以内であれば無償、それ以降は有償にて修理いたします。

症状	原因	処置方法
表示窓に何も表示されない	電源コードが外れています。	電源コードを正しく接続して下さい。
	漏電遮断器がOFFになっています。	漏電遮断器をONにして下さい。
	「ON/OFF」スイッチがOFFになっています。	「ON/OFF」スイッチをONにして下さい。
表示窓に OH と表示されている	本製品内部の冷却フィンが異常に温度上昇しました。	通常の温度に下がるまで（「スタート/ストップ」スイッチを押して解除されるまで）加熱をしないで下さい。また、フィルターが目詰まりしている可能性がありますのでフィルターを清掃して下さい。
表示窓に CH と表示されている	本製品内部の加熱用コイルが異常に温度上昇しました。	通常の温度に下がるまで（「スタート/ストップ」スイッチを押して解除されるまで）加熱をしないで下さい。また、フィルターが目詰まりしている可能性がありますのでフィルターを清掃して下さい。
表示窓に PH と表示されている	トッププレートが異常に温度上昇しました。	通常の温度に下がるまで（「スタート/ストップ」スイッチを押して解除されるまで）加熱をしないで下さい。（空焚き等で被加熱物の温度が高くなっている可能性があります。）
表示窓に LU と表示されている	機器に必要な電圧が低い。	正しい電源を使用して下さい。
表示窓に HU と表示されている	機器に必要な電圧が高い。	正しい電源を使用して下さい。
表示窓に nP と表示されている	鍋が置かれていない。 鍋が正しい位置に置かれていない。	「スタート/ストップ」スイッチを押すと解除されます。 トッププレートの中央（円の中心）に鍋を置き、調理を開始して下さい。
	使えない鍋を使っている	「スタート/ストップ」スイッチを押すと解除されます。 使用できる鍋を使ってください。
表示窓に oS と表示されている	温度センサーが接続されていない。	温度センサーを正しく取付けた後、「スタート/ストップ」スイッチを押すと解除されます。
	温度センサーが断線している。	販売店に連絡して、温度センサーを購入して下さい。
表示窓に SL と表示されている	温度センサーが測定物より外れている。	温度センサーを測定物に正しく取付けた後、「スタート/ストップ」スイッチを押すと解除されます。
表示窓に E21 と表示されている	電源が欠相している	正しい電源を使用して下さい。
表示窓に E22 と表示されている	トッププレートサーミスタが断線している。	販売店に連絡して下さい。
表示窓に E23 と表示されている	本製品内部の冷却フィンサーミスタが断線している。	販売店に連絡して下さい。
表示窓に E25 と表示されている	本製品内部の制御部が異常に温度上昇しました。	通常の温度に下がるまで（「スタート/ストップ」スイッチを押して解除されるまで）加熱をしないで下さい。また、フィルターが目詰まりしている可能性がありますのでフィルターを清掃して下さい。
表示窓に E26 と表示されている	本製品内部の制御部サーミスタが断線している。	販売店に連絡して下さい。
表示窓に E29 と表示されている	U相に電源が接続されていない。	販売店に連絡して下さい。
表示窓に E96、E97、E98、E99 のいずれかが表示されている	操作パネルとインバータの通信に異常があります。	販売店に連絡して下さい。
調理中に表示窓の表示が点滅している。	インバータ内部温度、またはトッププレート温度が高温になり、パワー抑制動作となっています。	温度上昇が抑えられると、点滅表示が元の表示に戻ります。（フィルターが目詰まりしている。又は被加熱物の温度が高くなっている可能性があります。）
本体のケースに触るとピリピリと不快な感触がある	本体にアース線が接続されていない。	本体にアース線を接続して下さい。
	本体に接続されているアース線が断線している。	本体に接続されているアース線の点検を専門業者に依頼して下さい。

## 8 仕様

品名	IHコンロ			
型式	DD30TAB	DD30TBB	DD50TAB	DD50TBB
定格電源	三相 200V 50Hz/60Hz			
定格消費電力	3 kW		5 kW	
電源容量	3.4 kVA		5.6 kVA	
ブレーカー容量	15 A		20 A	
質量	14 kg	17 kg	14 kg	17 kg
外形寸法 (幅×奥行×高さ mm)	300×600×180	450×600×180	300×600×180	450×600×180

## 9 保証とアフターサービスについて

**保証期間は、本体お買い上げ日から1年間です。**

保証期間中は、保証書の規定に従って、無償修理させていただきます。

保証期間後は、診断して修理できる場合、ご要望により、有料で修理させていただきます。

有料修理につきましては、修理費用は、事前に見積金額として提示させていただきます。

修理費用は、技術料+部品代+出張料(運送費)で構成されております。

保証期間1年を経過した商品の修理後の保証につきましては、修理箇所についての保証のみで、修理品お届け後3ヶ月です。修理箇所以外で発生した故障につきましては、有料の修理となります。

**保証期間中においても、有料修理となる例**

- ① 外力による破損(トッププレートの破損、等)
- ② 製品の設置環境が仕様に記載された条件を逸脱して、使用されている。
- ③ 電源系統に落雷、電気工事などで、異常電圧が発生し故障した痕跡のある場合。
- ④ 高温(200℃以上)の油などの飛散によるトッププレート接着剤の損傷による故障
- ⑤ 製品の内部に水などの浸入が認められる場合

**交換部品**

部品名	標準交換時期	交換方法
トッププレート	劣化発生時	新品と交換
冷却用ファンモーター	3年	調査の上交換
加熱コイル	5年	調査の上交換

# 保証書

品名	I Hコンロ
型式	<input type="checkbox"/> DD30TAB <input type="checkbox"/> DD30TBB <input type="checkbox"/> DD50TAB <input type="checkbox"/> DD50TBB ※対象機種をチェックして下さい
お買上日	※ 年 月 日
保証期間	1年
お客様の住所	※
お名前	※
販売店名住所	※

※必ず各欄をご記入下さい。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
  - 誤った使用目的・使用方法・改造・不当な修理による故障または損傷。
  - 落下・引っ越し・輸送などによる故障または損傷。
  - 火災・地震など天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
  - 消耗品の交換(消耗品とは、フィルター・トッププレート・冷却用ファンモーター)
  - 保証書のないもの
  - 保証書の※印欄に記入のないもの。あるいは字句を書き換えられた場合
- 保証期間後は、修理できる製品についてご希望により有料修理いたします。
- 保証書は紛失されても再発行いたしません。
- 保証書は日本国内で使用される場合のみ有効です。  
(This warranty is valid only in Japan.)
- 保証期間の内外に関わらず、機械の故障により発生した業務上の保証(操業保証)はいたしません。

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げの日から左記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品とこの保証書をご持参ご提示の上、お買い上げ販売店にご依頼ください。

## CHUBU

株式会社中部コーポレーション

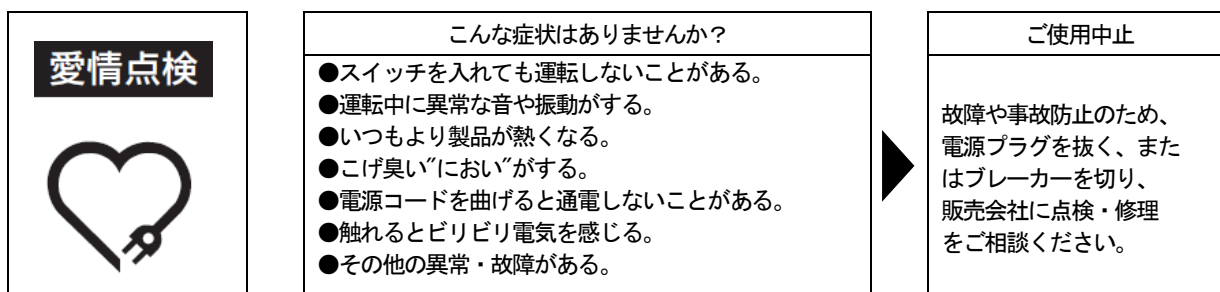
〒511-0944 三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰1533の1

●修理メモ

## アフターサービスについて

- 保証書はお買い上げの販売店でお渡しします。記載内容をご確認の上大切に保管して下さい。紛失されても再発行は致しません。
- 保証書にお買い上げ日、販売店など所定事項の記入がないと有効とはなりません。記入がないときはすぐにお買い上げ店にお申し出下さい。
- 万一、故障した場合には、保証期間中は保証書の記載内容に準じて無料修理を致します。
- 詳細は保証書をお読み下さい。
- 保証期間内の修理などアフターサービスについてご不明のときは、お買い上げの販売店、または、最寄りの各営業所までご連絡下さい。

### ●長年ご使用の厨房・調理機器の点検を！



# CHUBU

株式会社中部コーポレーション

フード機器事業部 / 〒511-0944 三重県桑名市大字芳ヶ崎字堂ヶ峰 1533-1

東京 / TEL 03 (5833) 9968      大阪 / TEL 06 (6788) 2251  
中部 / TEL 0594 (32) 1130      福岡 / TEL 092 (474) 1312